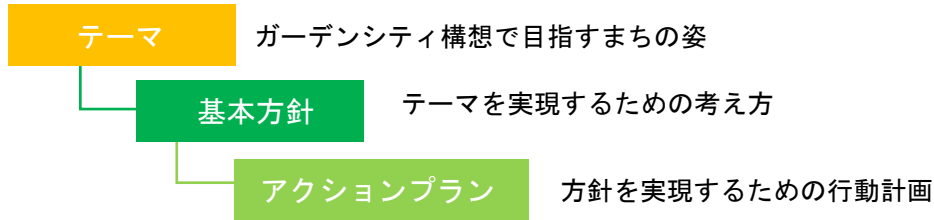


第3章 第2次プランのテーマと基本方針

1) 第2次プランにおける施策体系

第2次プランのテーマ・基本方針・アクションプランの体系を以下に整理する。ガーデンシティ構想で目指すまちの姿を示す言葉をテーマ、そのテーマを実現するための考え方として5つの基本方針、そして、その基本方針を実現するための行動計画としてアクションプランを設定する。



2) 第2次プランのテーマ

上位計画や社会情勢、水と緑の現状や課題で抽出されたキーワード等を踏まえ、テーマを「次世代へみずとみどりを継承・創造 住む人訪れる人の心と体を満たし、成長するまち」とする。第2次プランでは、来訪者へ向けた「もてなし」の要素だけではなく、市民活動の活性化や健康という要素を追加し、それらを未来世代へつないでいくためのテーマとする。

次世代へみずとみどりを継承・創造

地域社会を支える固有の自然環境を継承し、つくり、次世代につなげる

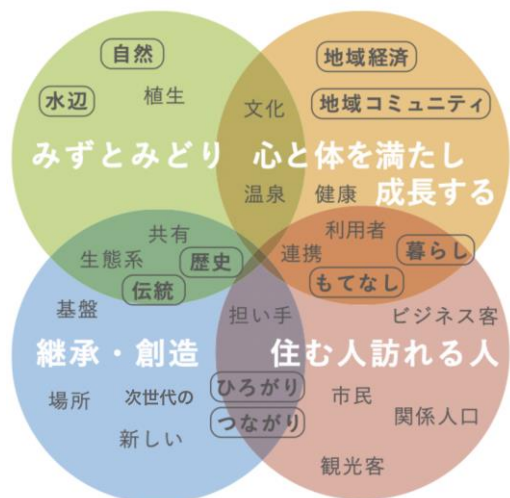
住む人訪れる人の心と体を満たし、成長するまち

市民や関係人口の活動が活発化し、健康で安心して暮らす・過ごす

上位計画・関連計画等のテーマ

- 第2次加賀市総合計画
『自然・歴史・伝統が息づく住んでいたい来てみたいまち』
- 第2次加賀市都市計画マスタープラン
『ひと・もの・地域がつながる
住んでいたい訪れてみたい輝きが集約されたまち』
- 加賀市緑の基本計画
『住んでいたい訪れてみたい水と緑のもてなし回廊
～水と緑でつなぐひと・地域・自然が輝くまち～』

【テーマとキーワードの関係イメージ図】



3) 5つの基本方針

ガーデンシティ構想の推進に向け、「人」水と緑を支えるコミュニティづくり、「仕組み」遊休地活用の仕組みづくり、「場所」地域経済や地域活動の起点となる場所づくり、「景観」地域を魅せる景観づくり、「基盤」自然環境を活かした基盤づくりの5つの方針に基づく施策を展開する。

基本方針1 「人」：水と緑を支えるコミュニティづくり

水と緑の活用に向けて市民・地域団体・事業者・行政が一体となり、水と緑について学び合い、意見交換する場や機会をつくることにより、活発なコミュニティを育む。

基本方針2 「仕組み」：遊休地活用の仕組みづくり

市内の公園緑地や空き地等の低未利用地を地域コミュニティが自主的に運営し、暮らしの中の様々なニーズに応じて、水と緑を有効活用する仕組みをつくる。

基本方針3 「場所」：地域経済や地域活動の起点となる場所づくり

地域の資源を活かした水と緑による心と体が満たされる場所づくりを図り、これらをつなぐネットワークを構築し、住民や観光客等が集まることで、新たな地域経済と地域活動を生み出す。

基本方針4 「景観」：地域を魅せる景観づくり

緑豊かな山々と、それを源流とする河川や海岸等の水辺のほか、雄大な自然や暮らしの中における景観を継承、創出する。

基本方針5 「基盤」：自然環境を活かした基盤づくり

生態系の土台である自然環境の保全を継承し、本市の特徴的な地形や豊かな自然環境が生み出した生態系が持つ多様な機能を活かし、安全・安心で持続可能な水と緑の基盤をつくる。

4) ビジョンマップ

第2次プランのテーマ「次世代へみずとみどりを継承・創造 住む人訪れる人の心と体を満たし、成長するまち」をビジョンマップとして示す。

【第2次加賀市ガーデンシティ構想推進プランビジョンマップ】

